

浜の宮小学校だより10月号(特別号)

まつぼっくり

学校教育目標
 ころ豊がたくましく
 生きる力を育てる
 めざす児童像
 ・はっきり話し、自ら学ぶ子
 ・まっすぐな心で、助け合う子
 ・ころも体も元気な子

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について

今年度、4月17日に行われた「全国学力・学習状況調査」では、全国の小学6年生と中学3年生を対象に、「国語」「算数(数学)」「理科」の学習状況、および児童・生徒の学校や家庭での生活実態について、調査が実施されました。

本校児童の調査結果が届きましたので、現状を分析し、まとめました。以下のとおり、保護者の皆様方にお知らせいたします。



学力調査では、例年の国語・算数に加えて理科について実施されました。教科ごとの本校児童の現状と課題については、下記のとおり分析しました。

国語

☆概ね力がついていること

「小森さんが傍線部アのように発表した理由として適切なものを選択する。」問題に関しては、全国・兵庫県平均を上回っている。話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができているといえる。

☆これから力をつけていきたいこと

「資料を読み返して言葉の変化について自分が納得したこと、資料に書かれていることをまとめて書く。」問題に関しては、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることがやや苦手と考えられる。文章や図表などの資料を読み取り、要約して表現する力をつけさせていきたい。



算数

☆概ね力がついていること

「示された資料から、必要な情報を選び、ピーマン1個とブロッコリー4個の重さを求める。」問題に関しては、全国・兵庫県平均を上回っている。示された資料から、必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算することができている。

☆これから力をつけていきたいこと

「10%増量したつめかえ用のハンドソープの内容量が、増量前の何倍かを選ぶ。」問題に関しては、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことを苦手としている。応用問題における「思考力・判断力・表現力」の育成に力を入れていきたい。



理科

☆概ね力がついていること

「水の温まり方について、問題に対するまとめをいうために、調べる必要があることについて書く。」という問題に関しては、全国・兵庫県平均を上回っている。水の温まり方について、問題に対するまとめを導き出す際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し表現することができているといえる。

☆これから力をつけていきたいこと

「アルミニウム、鉄、銅について、電気を通すか、磁石に引き付けられるか、それぞれの性質に当てはまるものを選ぶ。」問題に関しては、やや苦手としている。身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身につけていない傾向にある。「知識・技能」の力をつけさせたい。



生活実態調査は、「児童質問紙」として全77項目の質問によって実施されました。本校児童の現状と今後の課題については、下記のとおり分析しました。

児童質問紙

- ・朝食を食べている児童の割合は兵庫県・全国の平均より低かった。学級担任と食育担当、栄養士が連携して計画的に進めている食育の取組を、いっそう推進していきたい。
- ・「地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか。」という質問に関しては、45.3%と兵庫県・全国平均を上回っていた。地域で子ども達を育成していこうとするよい傾向がみられる。
- ・「学校に行くのは楽しい」「どちらかといえば楽しい」と回答した児童が90.6%で、兵庫県平均より5.5%、全国平均より4.1%高かった。その一方で、「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」と回答した児童が9.4%いる。児童の様子に常に気を配り、小さなサインも見逃さないようにより努めていきたい。
- ・「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれると思いますか。」の質問では、90.6%と兵庫県・全国の平均を上回っている。今後も児童に寄り添い、丁寧な指導を心掛けていきたい。
- ・「自分にはよいところがある」と回答した児童は約93.8%で、兵庫県平均より7.7%、全国平均より6.9%上回っており、また「人の役に立つ人間になりたいと思う」児童が96.9%でほぼ兵庫県・全国平均並みである。これは、自己肯定感や自己有用感が高い傾向にあると考えられる。また、「先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思いますか」という質問に「当てはまる・どちらかと言えば当てはまる」と回答した児童が98.4%と兵庫県・全国平均より高かった。今後も継続して、教師と児童、児童同士の深い関わりと、様々な体験活動を通して、他者を認める心を育て、かつ自己有用感を高めさせていきたい。

今後も、「読み取る力」や「思考力・判断力」の育成に向け、ご家庭との連携を図りながら指導していきたいと考えております。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。